

5. 横浜ファン

昨年、横浜駅西口のあるデパートが「東京カッペね、大阪イモね」という派手なポスターを広告に出した。本当に東京はカッペで、大阪はイモか？ もしそうなら、わが横浜は何なんだろうか？

横浜の魅力や市民性を明らかにする手がかりをえるために、「横浜ファン一〇〇人アンケート調査」を行った。それぞれの人に横浜とのかかわりを通して、「横浜のイメージ」「横浜市民の特徴」「一番好きな場所」などを答えていただいた。その一部を紹介し、横浜を愛する人々をスケッチすることしよう。

■横浜のイメージは

都市には、血筋というか、歴史的風土というか、その都市の個性があるようだ。

長い鎖国の時代を終え、近代世界の仲間入りをした一八五九年の開港とともに横浜の歴史は始ま

表-1 横浜のイメージ

順位	イメージ
1	みなとヨコハマ
2	異国情緒や国際性豊かな都市
3	しゃれたハイカラな街
4	ベッドタウン
5	人情味豊かな地方都市

る。一二〇余年たった今日においても、横浜の都市イメージの代表は、「ミナトヨコハマ」であり、港に彩られたエキゾチックな国際的ふん囲気であり、しゃれたセンスのハイカラ性である。これを色でたとえると、港を象徴する「ブルーライト」という人が多い。

一方、昭和四〇年代の人口急増期を反映して「ベッドタウン」とか、「最近の若者カッコよくてなりだけは大きい」とかマイナスイメージ的に表現する人もいる。ま

表-2 横浜ファンの好きな場所

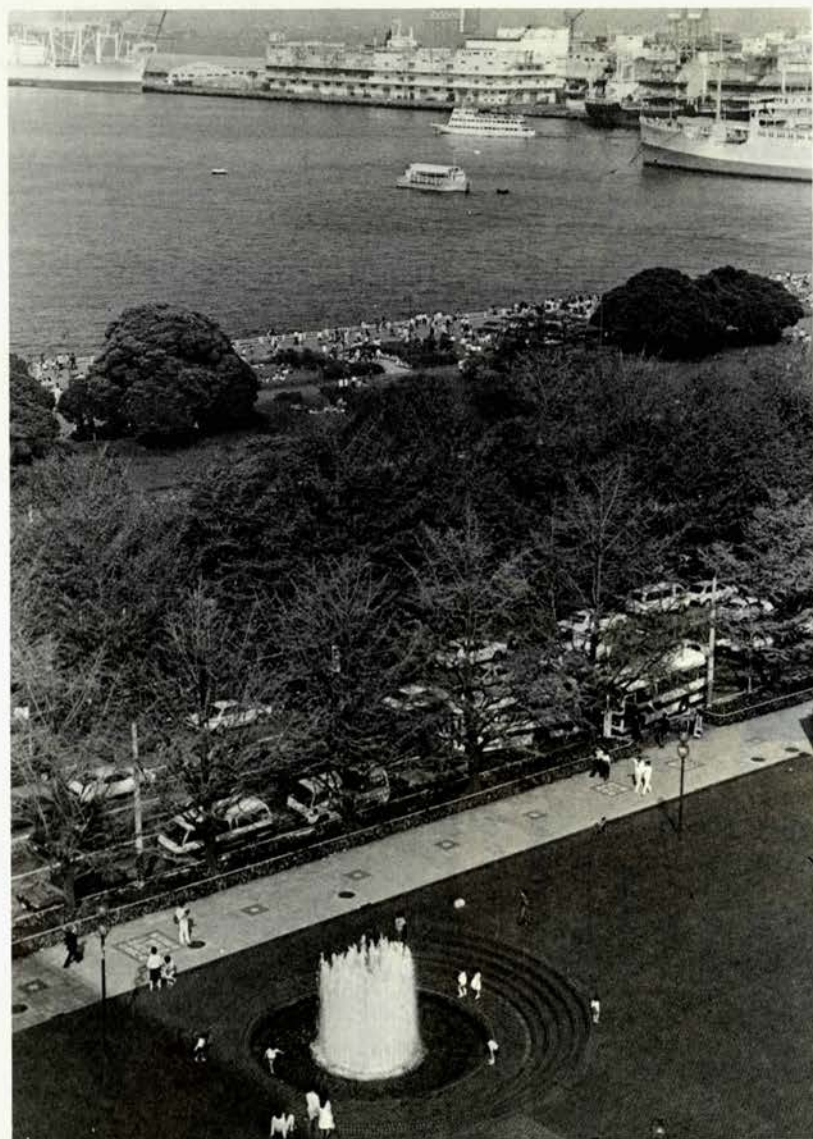
順位	場所
1	山下公園・大棧橋など海と港
2	外人墓地・港の見える丘・フランス山など山手地区
3	中華街
4	伊勢佐木町
5	元町

た、全国から多数の人々が短い期間に集まったためか、「大きな町」という声も聞かれる(表-1)。

■好きな場所ベスト5

横浜には年間で一三〇〇万人もの観光客が訪れる。外国に向かつて開かれた夢とロマンにみちた明るさや、文明開化のかおりの残る横浜のイメージが、多くの人々をひきつけるのであろう。

横浜ファンの好きな場所も、こ



好きな場所第1位は、やはり「海と港」であった

うしたイメージを象徴する場所が
やはりあげられた(表1-2)。

落語家の桂歌丸さんは「真金町、
日ノ出町、長者町、寿町、黄金町
——町名をごらんなさい。縁起の
良い町名ばかりでしょう。東京の
ように町名を変えるなんてことは
絶対許しませんよ。」

写真家の天野裕之さんは、下町
の良さを次のように述べる。「横
浜橋商店街周辺は、まだ運河もあ
り、いろいろの人たちが運河と一
緒に海につながって生活していて、
生活感が人や街を生き生きとさせ
ている。」

■街の魅力や市民性は

横浜はよく西の港町神戸と比較
される。同じ港町でありながら、
都市の誕生のいわれや、その後の
歩みが、異なった都市のイメージ
を生みだしているからだろう。

高度成長期に郊外部を中心に、
住宅開発が激しく進み、かつての



異国情緒あふれる外人墓地は好きな場所の第2位に

表-3 首都圏女子高校生のよく行く所・行きたい所

順位	場所	%
1位	横浜	38.9
2位	渋谷	10.0
3位	原宿	8.1
4位	青山	7.9
5位	新宿	6.1
5位	上野	6.1
7位	吉祥寺	5.8
8位	銀座	5.4

〔資料〕首都圏の高校(15校)、1,500名の女子高校生アンケート結果(昭和58年2月)「ダ・カーポ」2月20日号から

「神戸は同じような魅力があるが、横浜は東京から百円玉少々で行ける。神戸は少なくとも二万円かかる。」と東京に住む音楽評論家

「大都会でありながら、田舎のよ

思議な空気がある。」と語る。

ヨイのところがある。気安い市民

を同化して横浜にしてしまう不

コハマ(生粋の)人は、淡白で素

海洋計測器メーカーの社長であ

「ゆったり、のんびり、イライラ

でしようか」とたずねてみた。

「江戸っ

が新たに出現した。

作家の大隈秀夫さんは、「あまり

うな暖かみがある。一見うれし
ようなうなるさいような。時代に合
わないスローモーションなところ。東京
は歯車のような金属音。横浜は荷
車のような木の味」とは、関内
画廊を開いている松本幾子さん。
「過去のヨコハマのイメージを
追いついて、息苦しいところもあ
る。」と音楽プロデューサーの飯田
雄一さん。

ショッピング街のミニコミ誌を
編集発行している村山竜朗さん
は、「横浜の街も人も、常に行動を
開始しようと身ぶるいしている感
じ。発車寸前の蒸気機関車のごと
く、今に大きな動きを導き出すと
いう希望がある。」と横浜の未来に
期待をかける。

■「横浜は私のいのち」

横浜がこれからも人に愛される
都市として、大切にすべきことは
何であろうか。

「東京でも神戸でもない横浜ら

しさをつくり上げていくこと」が
多数の意見であった。終りに、三
人の方の意見を紹介しよう。

「私は横浜ファンではありません
ん。ファンなんて他人行儀ではあ
りませんか。野球選手は自分のこ
とを『野球ファン』と言いますか。
言わないでしよう。横浜は、私の
いのちです。」と青木雨彦さん。

横浜を訪れる外国人のホームビ
ジット受入れを行っている主婦の
椛田道子さんは、「神戸出身だから
というわけではありませんが、横
浜はPRが下手です。神戸は神戸
のイメージアップの広告が大変ス
マートで印象的。ヨコハマも何か
これぞ！というポイントを打出
してPRすべきです。」と市政に注
文をつけている。

横浜ファンをもっとたくさんつ
くるために、横浜にある文化財団
の調査役の中村實さんは、「あなた
の愛唱歌はと聞かれて、横浜市歌
と即答できる市民を多くしたい。」
と述べている。



伊勢佐木町、中華街について横浜ファンの好きな場所第5位の元町